

東島根中校長雑感

足立区立東島根中学校

令和6年3月1日 令和5年度 第13号

私の「3・11」

校長 大瀧 訓久

「少し早いけど、最終チェック場所に行ってようか。」そう言って学年主任と一緒に立ち上がった瞬間、足元が大きく揺れ始めた。「地震？」初めは落ち着いていたが、徐々に揺れは大きくなり長い。建物の外に出て様子を見るが、波打つような揺れは収まらない。思わず地面にしゃがみ込んでしまった。2011年(平成23年)、当時私は23区最西端の練馬区の中学校に勤務していた。3月11日、副校長になって2年目、3年生の卒業遠足の引率責任者としてTDLに行っていた。当日は卒業シーズンでもあり、TDSを含め約7万人の来園者(ゲスト)で園内は混み合っていた。「皆様にお知らせいたします。ただ今、地震がありました。建物のそばにいらっしゃる方は建物から離れて広いところでお待ちください。」TDLで園内アナウンスを初めて聞いた。夕方、園外の最終チェック場所に奇跡的に全生徒・教員が集まることできたが、この頃から雨が降り出し冷え込んできた。京葉線は不通。携帯電話は全く通じず、外部の様子は一切分からない。リゾートラインの駅の下で雨宿りをしていたが、日も暮れ気温は急激に下がってきた。入場門で交渉後、再び園内に入れてもらいレストラン施設を提供してもらおうが、なにぶん5クラスと人数が多い。半数以上の生徒が、屋外のテラス席になり寒さと不安で震えている。するとスタッフ(キャスト)がやってきて、安全点検が終了したTDSの施設に従業員専用通路を通して移動させてもらった。ペンライトを持ったキャストに案内され、大きな劇場の中に入った。暖かい。お菓子や飲み物、アルミのエマージェンシーシートや毛布、温かいひじきご飯も振る舞われた。深夜になりやっとメールだけはつながり始め、京葉線は依然不通だが、地下鉄は始発から動き始めるとの情報が入ってきた。ともかく、生徒たちを練馬区の自宅まで全員無事に帰さなくてはならない。一番近い地下鉄の駅は東西線の「浦安駅」である。生徒たちを信頼の厚い学年主任らに任せ、私は若手教員2名を連れ、TDSから浦安駅までの安全な道のりを探索しに出かけた。静まり返った浦安市内、波打つ道路、あふれ出る泥水、地面に沈下した交番、傾くバス停、突き出るマンホール、鉄筋むき出しの京葉線の橋脚・・・浦安ICの陸橋は通行止めであった。浦安駅までの安全なルートを確認して再びTDSに戻ってきたとき、夜は明けようとしていた。TDRのキャストたちは、常に笑顔で対応してくれた。トイレは一晩中、定期的に清掃し常に清潔であった。従業員専用通路では、何十人ものキャストがペンライト片手に両サイドに並び、真夜中に光の道を作ってくれた。そして、退園するときには、私達の姿が見えなくなるまで手を振ってくれた。すべては「夢の国」に来たゲストのために。当然、キャスト達も被災者である。そしてキャストの約9割はアルバイトである。私はこのTDRでの3.11の体験で、教員として、生徒の「安心・安全」を命懸けで守らなければならないと再確認できた。震災から一週間、不気味に続く余震、計画停電で乱れるダイヤ、勤務に支障が出ないよう何日も学校に泊まって、卒業式を迎えた。卒業式当日、卒業生代表生徒による答辞の中で台本にない言葉が入った。「3月11日の卒業遠足。私たちは世の中で何が起きているのかもの凄く不安でした。しかし、先生方がいてくれたので安心して過ごすことができました。そして、全員を無事に家に帰していただけました。本当にありがとうございます。」

東日本大震災から13年が経ったが、今年は正月に能登半島が大きな地震に襲われ甚大な被害を受けた。また、大震災が起きた前日の3月10日は、今から79年前の1945年(昭和20年)に東京大空襲があった日である。大震災や戦争の体験者は、悲惨な体験を思い出したくないとは思いますが、同じ過ちを犯さないよう、後世にしっかりと伝え続けてもらいたい。戦争は「人災」、我々日本人は、大きな負の体験を生かして二度と戦争を起こしてはならない。地震や津波などの「天災」は人間の力では防ぎようがないが、我々の知恵と努力で被害を最小限に食い止めることはできる。知恵と努力、学校生活でしっかりと身に付けていこう・・・

☆今年度都立高校推薦入試・個人面接質問事項ベスト10

- 第1位『志望理由』 例「どうして本校を志望したのですか」
 - 第2位『将来の進路や希望』 例「高校卒業後の進路は」「なぜその職業に就きたいのか」
 - 第3位『高校に入ってやりたいこと』 例「何の行事・部活を頑張りたいですか」
 - 第4位『校則について』 例「校則(ルール)はなぜ必要か」「違反している友達への声掛けは」
 - 第5位『部活動について』 例「部活動で得たこと」「真剣に取り組まない部員がいたらどうする」
 - 第6位『自分の長所・短所』 例「長所が発揮された経験を述べてください」
 - 第7位『中学校生活の思い出』 例「中学校時代の一番の思い出とそのことで得たことは」
 - 第8位『通学時間・利用交通機関・経路』 第9位『得意・不得意科目について』
 - 第10位『説明会等の参加について』 例「参加した時の印象はどうでしたか」
- その他：自己PR(1分)多数、「日常の学習時間はどれくらいか」「予習・復習はなぜ大切か」

★作文・小論文について (一部掲載)

『中学校生活を通して誰かとの協力によりあなたがやり遂げたことにはどのようなものがありますか。また、そこからあなたが得たり学んだりしたことは何ですか。そして、その経験を高校生活ではどのように活かしていきますか。』(青井)、『あなたは学校行事の中心的な役割を任せられました。「他人と協力する」ことを重視し、準備や行事当日の運営をしていく中で必要な力を2つ挙げ、その理由も書きなさい。また、その力を今後の学校生活にどう活かしていくか具体的に述べなさい。』(足立)、『「なぜ規則を守らなければならないのか」あなたの考えを述べなさい。』『「けじめ」「礼節」を踏まえ、あなたは本校で生活するにあたりどのような心掛けをしたいと考えますか。具体的な取組を2つ述べなさい。』(淵江)

☆表彰生徒

- ・善行青少年顕彰式 2年3組生徒：子供会 ・青少年対策保塚地区感謝状 吹奏楽部：音楽祭
- ・バスケットボール部 足立区立中学校花畑ブロック1年生技術交流会
女子：優勝 男子：準優勝 優秀選手賞：1年2組生徒 ・ 1年1組生徒

☆能登半島地震災害義援金募金活動報告 ご協力ありがとうございました！

1/31(水)～2/2(金) 生徒会役員が校門前に立ち募金活動を行ってくれました。
一ツ家一丁目町会の方や民生児童委員の方にもご支援を受け、総額「52,731円」になりました。全額、石川県の義援金振込口座に2/5振り込みました。

- 3月 1日(金) 3年：都立高校前期一次発表
- 4日(月) 専門委員会(最終)
- 5日(火) 3年：球技大会
- 6日(水) 3年：都立高校後期二次出願、避難訓練
- 7日(木) 5・6h笑顔と学びの体験活動プロジェクト(バスケットボール)、中央議会
- 8日(金) 3年：卒業遠足(八景島)、2年：百人一首大会
- 9日(土) 3年：都立高校後期二次学力検査
- 11日(月) 生徒集会、3年：薬物乱用防止教室、三送会
- 14日(木) 3年：都立高校後期二次発表
- 15日(木) 卒業式予行
- 19日(火) 第64回卒業証書授与式(開場9:20 開式10:00 保護者参列可)
- 21日(木) 2年：球技大会、1・2年：保護者会(14:00～全体会・学年別)
- 22日(金) 1年：球技大会、大掃除、給食最終
- 25日(月) 修了式
- 4月 8日(月) 始業式 9日(火) 第65回入学式(受付9:00～9:30 開式10:00)